大阪阪急百貨店で“翔陽米”の販売実習を行いました。

１２月１３日（土）に大阪の阪急百貨店内にある「“米処四代目益屋”阪急うめだ本店」で、翔陽高校で今年育てたお米“きぬむすめ”の販売を行いました。

この取り組みは、（株）神明ホールディングさんの「農業の未来を担う　若者応援プロジェクト」の一環として全国の農業高校から選抜された高校が実施する取組みです。

今回は、生物環境工学科の三年生３名が「アイガモロボットを使用し、低農薬化学肥料栽培で育てた島根県益田市産“きぬむすめ”」の販売をしました。

当日は、うめだマルシェというイベントの一つとして試食のおにぎりも準備し、ＰＲを行いながらの販売実習を実施しました。

多くの方が来店され、１０時からの販売開始でしたが、１４時には完売することが出来ました。ご購入していただきありがとうございました。

私たちが育てたお米を大阪の人にも届けることができ、とてもやりがいを感じた時間を過ごすことができました。